

「(仮称) 第2次魚津市生涯スポーツプラン (案)」に対する
パブリックコメント (市民意見等の募集) の結果について

- 意見を募集した案件名：「(仮称) 第2次魚津市生涯スポーツプラン(案)」について
- 募集期間：平成25年2月1日(金)～2月20日(水)
- 意見等の提出件数：4名から7件の意見 (内訳：電子メール1名、持参3名)
- 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

項目等	意見等の概要	左記に対する考え方
子どもの 体力向上 5ページ 6ページ	5ページの表にスポーツ少年団団員数の推移の表はあるが、中学生の部活動加入者の推移が無い。 また、6ページにスポーツクラブ、スポーツ少年団等の加入促進は記載されているが、中学校部活動加入促進の記載が無い。 部活の活性化に向けた中学生への対応がポイントである。	魚津市内中学校の運動部部活動に加入する生徒の加入率は、ここ数年横ばい状態であることから推移の表の記載は省いております。なお、平成24年度の加入率は79.5%でした。 なお、今後中学校部活動の活動の魅力を向上させるために、中学校体育連盟をはじめとする関係機関と連携を取りつつ、指導者の指導力向上のための研修の開催や、部活動への外部指導者派遣などの実施を行っていきたいと考えております。
6ページ ④スポーツ クラブ、スポ ーツ少年 団等の加 入促進	スポーツクラブ、スポーツ少年団等の加入促進とあるが、どのような手だてを使って情報発信をされるのか。児童数の減少に伴い、スポ少では団員の確保が急務となっており、各団でも苦心しておられる現状です。スポーツ人口や競技人口の底上げには、子どものころからスポーツに親しむのが一番だなと思うのですが、学校によってはスポ少に対する温度差もあり、なかなか上手くいかないのでは。	スポーツ少年団の団員募集の方法として、現在は魚津市スポーツ少年団本部から市内小学校への募集用紙の配布が中心で、そのほかには各団が独自にポスターなどを作成し、募集しているようです。これまで市の広報媒体を活用したことがないと思われますので、これらの活用をはじめとして、団員の募集について、魚津市スポーツ少年団本部と今後の方法を相談していきたいと考えております。
10ページ ③全国的 イベント の充実・ 発展	トランス・ジャパン・アルプス・レースを便乗し明記してみてもは、2年おきに魚津水族館をスタート地点として開催されています。 魚津市は関係していませんが、壮大なレースです。	この項目では、市が推進する全国的イベントであり、住民が気軽な感覚で大会や応援に関われるような行事として、魚津しんきろうマラソンや大学女子野球選手権大会を記載しております。 トランス・ジャパン・アルプス・レースはマスコミにも取り上げられるなど、知名度がアップしておりますが、専門性やレベルが高い競技レースであるようなので、この項目での記載は控えたいと考えております。 今後の取り組みとして、このレースが市民のスポーツ振興に結びつく部分があれば、広報などでの大会の紹介など検討していきたいと考えております。

項目等	意見等の概要	左記に対する考え方
10 ページ ④ウォーキングやジョキングの推進	ラジオ体操を明記しては、天候、場所に関係なくラジオテレビがあれば気軽にできる運動です。	ご意見の通り、ラジオ体操も時間や場所を自由に選択でき、個人の体調に合わせてできることから、プランに記載していきたいと思います。
10ページ 啓発活動・情報提供の充実 ①忙しい人向けの情報提供	魚津市図書館に、スポーツ、健康・食事関連に専用コーナーを設けさらに、関連書籍の新書をできるだけリアルタイムに閲覧できるようにする。 またスーパーや金融機関に専用のお知らせ掲示板を設置する。追加明記しては。	現在図書館の本は、主題別に分類され並べられており、スポーツの本はスポーツの棚に健康・食事関連の本は健康の棚にあります。新刊・新着本はホームページで検索でき、新着案内を毎月発行し館内で配付しております。また、入って正面の棚が新刊新着本のコーナーとなっております。 スーパーや金融機関での掲示板の設置については、今後の具体的な取り組みとして出来ないか、検討してまいりたいと考えております。
11ページ スポーツを支える組織、人材の育成	医療関係者との連携の追加明記 医師、歯科医師、看護師、管理栄養師、柔道整復師など、医療関係者との連携でスポーツ障害の予防、食事の管理指導を実施する。 例えばですが、魚津しんきろうマラソンの開催時に、消防団車両に医師もしくは看護師にボランティアで乗車してもらい、救命活動隊を編成し大会の警戒のあたる事、実現できるのでは。	市の健康担当部局との連携による情報提供を、ご指摘された項目の前に掲載しております。また、市の健康担当部局が市内の保健医療関係団体及びスポーツ団体との連携により事業を展開しております。教育委員会としても今後、具体的な取り組みの中で、健康担当部局と連携した事業に取り組んでいきたいと考えております。 なお、魚津しんきろうマラソンでは、大会車両に医師が同乗しコースを走行し、消防本部の隊員もAED部隊として、コース内を自転車により走行しております。

項目等	意見等の概要	左記に対する考え方
<p>21、22 ページ 市民アンケートの結果について</p>	<p>市内にはスポーツクラブを有する地域がいくつかあるはずですが、知名度が低すぎると、「加入したいか」の問いに対し、「加入したくない」が過半数いるのはなぜか。 市民全体にスポーツに対する関心を向上させる方法をもっと具体的に考えたほうがよいのでは。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブは、会員からの会費を基に自主的に運営されるスポーツクラブです。市内にはありそドームなどの施設を拠点としたクラブと、地域を拠点としたクラブが大町、本江、天神の3地区にあります。3地区以外の住民にとってはクラブに対する知名度や関心が上がらず、加入への意欲も上がらないのではと考えられます。</p> <p>総合型地域スポーツクラブは、子供から高齢者、初心者からトップレベル、楽しみ志向から競技志向まで、それぞれが年齢、関心、体力、技術などに応じた活動を目指す、多目的、多世代型のクラブです。地域の人々がクラブに集いふれあいながらスポーツを楽しむという魅力の周知を、今後の具体的な取り組みのなかで行っていきたいと考えております。</p> <p>また、このスポーツプランは基本的な方向性を示すものであり、具体的な施策に欠けているところもありますが、市民全体にスポーツに対する関心を向上させるために、関係機関と連携しながら、具体的な施策の実施に努めていきます。</p>